

# なかつか 亮



市街地を通過する伊丹空港にて現地調査（右：なかつか亮）

2015年8月

# 羽田新ルートは撤回を 浜野区長の計画容認、ゴマカシは許しません

## 品川区議会 25日より開会

「容認していない」  
は通用しない

羽田新ルートの是非が最大の争点となった品川区長選挙。現浜野区長は議会では「容認していない」と述べながら、一方で計画容認を国交省に伝えていたことがわかり区議会で大問題になっています。

事の発端は共産党が国交省より情報公開で独自入手した資料。現区長は国交省に出向き事務次官に会って「大事な国策として理解したい」と述べていた事

が記述されていました。

共産党は二枚舌は許されないと追及。現区長に容認を改め、計画撤回を国に表明すべきと求めてきました。

区長選では現区長は「断固容認していない」と応援弁士が発言するなど自公陣営は争点隠しに徹しましたが現区長の選挙公報には「空路変更は何よりも市民の安全安心を最優先」と記載。安全安心な市街地の低空飛行などなく、結局は空路変更の容認を示すものです。

## 選挙後の発言でも

区長選後のマスコミへの区長インタビューでも容認は明らか。東京新聞は「飛ばすなど言うのは現実的ではない。少しでも騒音や落下物の危険が少なくなるよう国交省に粘り強く交渉していく」と区長発言を紹介しました。計画を進める安倍首相は国会で「地元の理解を得ながら進める」と発言していますが、その地元となる品川区長が「飛ばすなどは現実的では



市街地を通過する様子（伊丹空港周辺）

ない」とは計画受け入れ表明に他なりません。

さらに騒音や落下物の危険を「少しでも少なくなるよう」とは危険がゼロにならない事を認めたくえで、住民の命に関わる落下物事故の危険を「少しでも」とは、住民の命をあまりに軽視するものです。

また朝日新聞では現区長は国交省に「高度を保つて直前で降りる飛ばし方」を求めるとの発言を紹介。これは羽田空港に急角度で着陸させるもので、真下で暮らす住民にとっても、飛行機の乗客にとっても危険な提案です。

いよいよ区議会が始まります。横田空域の関係で実施困難との新たな報道もあります。区長のゴマカシをただし羽田新ルート撤回へ頑張ります。

## 8名に増えた日本共産党品川区議団

質問時間が、本会議で15分、予算・決算は1日80分に



資料を移動し、机を追加



左：おくの区議 右：新事務局の小池氏

共産党は、おくの晋治氏の初当選により7名から8名に増え、さっそく共産党区議控室（議会棟6階）に、おくの区議の机が配置されました。

また議席増に伴い、本会議では15分、予算・決算委員会では1日70分が80分に質問時間が増えます。この力で、住民要望の実現に頑張ります。

なお共産党区議団事務局には小池敏哉が勤務しています。

生活相談や議会傍聴の際には、お気軽にお立ち寄りください。 なかつか亮

なかつか亮プロフィール 1975年品川区西大井生まれ/42歳/03年に27歳で初当選し、総務、区民、厚生、建設、文教と区議会5常任委員会を経験/現在、行財政改革特別委員会委員長/区議4期/家族：妻/好きな事：夕食作り、旅行

